

平成18年度 川崎市母子生活支援施設の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 母子育成会（川崎市川崎区本町1-1-1）
(2) 指定期間	平成17年4月1日～平成22年3月31日
(3) 業務の範囲	ア 児童福祉法に基づく母子保護と要綱に基づく緊急一時保護（広域入所を含む） イ 関係機関との連携と入所者の自立支援計画の策定 ウ 入所者への生活・就労・子育て等支援・指導

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持・管理に関する業務	施設管理業務については、設備点検・清掃等の実施を専門業者に委託し、効率的かつ安全な施設の維持管理に努めた。修繕については、居室の畳、襖やガラス修理等のほか、看板や壁のペンキ塗装など軽易なものはボランティアを活用し対応した。	修繕費は委託料のうち一定金額（100万円）をあてるよう指定時に取り決めているため、必要な修繕について対応されたい。
② 職員配置及び教育・研修の状況	国基準を上回る職員配置を行い、処遇向上に努めた。また、所内で学識者を講師に招き事例検討に係る研修を6回、虐待関係の修復や養育機能の再生強化を目指しおやこムーブメント教育・療法を3回行うなど、充実を図った。（所内研修12回、所外研修：講演、シンポジウム等25回）	研修として事例検討を定期的に行うなど職員間での社会資源活用に係る知識・技術の共有を目指し取り組んでいる。今後も充実を図られたい。
③ 入所者の健康づくり	入所者の入所時健康診断、定期健康診断（嘱託医健診含む）、歯の健康相談などを行った。 健康診断実施回数：11回、受診者：196人、相談者：67人、歯の健康相談：2月13日実施、15人参加。	今後も入所者の健康づくり支援への取組みを求める。
④ 関係機関等との連携	各保健福祉センターや児童相談所、学校、警察、病院等と連携し支援業務にあたった。またケースカンファレンスや連絡会へ出席した。また学習や保育、また施設修繕等でボランティアを活用したほか、10校19人の実習生を受入れ人材育成の一助として貢献した。	ボランティアを積極的に活用し、多面的に児童処遇の向上に努めている。関係機関との連携については今後も密に保つよう求める。
(2) 入退所状況と支援内容		
① 入退所状況	ア 本入所の状況 年度中入所は20世帯、退所は22世帯。18年度末在籍は24世帯67人。 イ 緊急一時保護の状況（定員30世帯のうち2世帯） 年間一時保護世帯数は新規12世帯、前年度からの継続1世帯。年間一時保護人数は36人（母親13人、児童23人）。年間一時保護日数は239日（1世帯あたり平均保護日数は18.3日）。利用延人数713人。	入所世帯数が前年度と比較し低く推移した。福祉事務所から入所要請があった場合、市内施設での対応が可能なものについては関係機関と協力し受入態勢の整備に努められたい。
② 相談支援状況	入退所時、期間更新時の面接相談のほか、随時、就労・家庭生活及び児童の養育等に関する援助及び助言支援を実施した。また心理担当職員は週4日母子への精神的ケアを個別に行い年度中に延べ756回心理療法等を行った。	精神的に不安定な入所者もおおり、心理担当によるケアを必要とする場合も多い。今後も心理担当の配置によるいっそうの処遇充実を求める。

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導																				
③ 保育実施状況	利用のしおりを作成し、次のとおり実施。 ア 一時保育:0~5歳児の乳幼児対象、月~土曜日9時~18時実施(602人利用)。 イ 母子保育:就学前の母子と一緒に子育ての体験を広げたり情報交換を行う(207人参加)。 ウ 自立支援保育:就労をしている保護者の乳幼児で、未就園児対象、月~土曜日8時30分~17時(8人利用)。	就労支援の一環として保育所入所までの保育を担う自立支援保育の実施など、保育の充実に力を入れている。新たに入所者へ配布するためのしおりを作成したことが評価できる。																				
④ その他の行事実施等支援状況	毎月、避難訓練と合わせて母親懇談会を実施した。また、子ども会や親子参加行事を開催し、自然と触れて入所者とおし交流した。(子ども会:遠足、釣り大会、カレーパーティ等17回、親子参加:買物ツアー、菜園づくり、花見等25回)また、子ども向けの入所のしおりを作成した。	施設内外での行事を通じて自立支援につながるような支援を行うよう工夫している。また、母親向けに加えて、子ども向けの入所のしおりを作成した点が、高く評価できる。																				
(3) 収支状況																						
① 収支状況	<table border="1"> <tr> <td>収入金額</td> <td>64,001,662</td> </tr> <tr> <td> 指定管理委託料</td> <td>63,246,000</td> </tr> <tr> <td> その他収入</td> <td>755,662</td> </tr> <tr> <td>支出金額</td> <td>65,910,145</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>52,800,595</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>11,574,161</td> </tr> <tr> <td> 事業費その他</td> <td>1,535,389</td> </tr> <tr> <td>収支差額…(a)</td> <td>-1,908,483</td> </tr> <tr> <td>前期繰越額…(b)</td> <td>2,949,450</td> </tr> <tr> <td>次期繰越差額…(a+b)</td> <td>1,040,967</td> </tr> </table>	収入金額	64,001,662	指定管理委託料	63,246,000	その他収入	755,662	支出金額	65,910,145	人件費	52,800,595	事務費	11,574,161	事業費その他	1,535,389	収支差額…(a)	-1,908,483	前期繰越額…(b)	2,949,450	次期繰越差額…(a+b)	1,040,967	職員配置は維持し、収支の安定を図ること。
収入金額	64,001,662																					
指定管理委託料	63,246,000																					
その他収入	755,662																					
支出金額	65,910,145																					
人件費	52,800,595																					
事務費	11,574,161																					
事業費その他	1,535,389																					
収支差額…(a)	-1,908,483																					
前期繰越額…(b)	2,949,450																					
次期繰越差額…(a+b)	1,040,967																					
(4) その他																						
① 入所者からの意見・要望等への対応	施設内に意見箱を設置し、苦情等を受けた。意見・要望については施設全体の問題として対応した(2件:騒音について→掲示による警告、職員への周知。買い物ツアーの開催時間帯について→午後にも設定し対応。)子どもの意見・要望を吸い上げるためのポストを新たに設置した。	受けた意見・要望については施設全体で対応を検討し改善に取り組んでいる。またこどもポストの設置は、母子がともに生活する当施設で必要な視点であり、評価できる。																				
② 個人情報の保護	個人情報を日々取り扱っており、その重要性について認識し業務にあたっている。	施設全体で共通の認識を持つ工夫をし、引き続き取り組まれたい。																				

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

<p>入所者支援については、指定管理者制度移行後2年目を終えて、事例検討等の研修の充実がなされ、職員の社会福祉援助技術向上を目指した取組みが見られた。また、長期(8年以上)入所者に対する関係機関との連携による退所に向けた支援強化が行われ、2世帯の退所につながった。</p> <p>児童福祉法に基づく母子がともに入所する当施設で重要な視点となる、子どもの意向確認については、子ども向け入所のしおりやこどもポストの設置の改善がなされた。</p> <p>運営上での取組みとしては、監査結果を受け寄付金台帳の整備や金銭管理の内規が規定されるなどの整理がなされた。全般的に課題に対して創意工夫がなされ、柔軟な対応がとられている。</p>

4 来年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

<p>入所世帯数が低く推移している現状の課題を整理し、入所受入に必要な体制を整備されたい。</p> <p>また、入所者の安全が確保されるよう、昼夜ともに危機管理及び警備体制の強化に引き続き努め、関係機関との連携を含め、対応を再確認されたい。</p> <p>事例検討等の研修を継続し、施設職員の支援に係る知識・技術の共有及び向上に取り組まれたい。</p>
--